

委託事業実施内容報告書

平成22年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【ボランティアを対象とした実践的研修】

受託団体名 特定非営利活動法人 とんだばやし国際交流協会

1 事業の趣旨・目的

日本語に不自由する人々の中でもレベルはさまざまである。初心者への学習援助のみならず、今回はもう一歩進んだ日本語学習者支援を考えたい。そのためには発想を変えてみることも必要であると考え、教えられる立場を体験しながら教えるためのスキルアップを図りたい。

2 企画委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
6月10日	(特活)とんだばやし国際交流協会	前川仁三夫 内海京子 金和子 田中栄子 春名咲	・講座の概要 ・講座の日程について ・講座の内容について	・講座の概要説明(主旨・目的等) ・日程について、多くの方が参加しやすいよう検討する。 ・講師の母語で教えてもらうため、どのような内容がいいか検討。
6月24日	(特活)とんだばやし国際交流協会	金和子 内海京子 田中栄子 春名咲	・前回の会議内容について ・語学講座について	・日程については土曜と水曜に行くことになる。 ・定員について、多くなる場合等は参加者の状況に応じて調整していく。 ・募集方法については募集チラシを作成、各日本語教室に配布
7月8日	(特活)とんだばやし国際交流協会	前川仁三夫 内海京子 金和子 田中栄子	・ちらしの内容確認 ・語学講座の内容について	・ちらしの内容を確認し各団体に配布 ・第一回目の語学講座の内容について別紙で説明

7月29日	(特活)とんだば やし国際交流 協会	前川仁三夫 内海京子	・講座の参加申し込みについて ・語学講座の内容について	・申し込み用紙の配布、参加人数やその調整等 ・語学講座の案としてベトナム語講座の教案を提示する。
8月5日	(特活)とんだば やし国際交流 協会	前川仁三夫 内海京子 田中栄子 春名咲 徳永リタ	・13・14回の講座について ・講座内容について	・11月の講座について講師の依頼等状況説明 ・ネイティブ講師を交えて講座内容の検討
8月24日	(特活)とんだば やし国際交流 協会	金和子 内海京子 春名咲	・ベトナム語講座の内容	・ベトナム語講座の内容をテキスト含め検討
8月26日	(特活)とんだば やし国際交流 協会	金和子 内海京子 徳永リタ	・スペイン語講座の内容	・他の講座の内容と調整して検討する。 ・次回他の語学講座講師と打ち合わせをする。
9月2日	(特活)とんだば やし国際交流 協会	金和子 内海京子 田中栄子 徳永リタ 春名咲	・講座最終回の内容 ・スペイン語・ベトナム語の内容	・講座最終日に非識字体験ゲーム等を行ってみる ・語学講座内容について、具体的に教材等検討
10月1日	(特活)とんだば やし国際交流 協会	前川仁三夫 金和子 内海京子 田中栄子 秋元暁萌 江崎瞳	・中国語講座の内容	・中国語講座の内容をテキスト含め検討
11月19日	(特活)とんだば やし国際交流 協会	前川仁三夫 金和子 内海京子 田中栄子	・講座最終日(11月24日)の内容について。	・「非識字体験ゲーム」の進行について。 ・最終意見交換の進行について。

【写真】



7月8日の様子



7月29日の様子

3 研修講座の内容について

- (1) 研修講座名 日本語ボランティア・スキルアップ講座
- (2) 研修の目標 日本語教育支援者のスキルアップを図る。
- (3) 受講者の総数 19人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)
(出身・国籍別内訳 日本 17人、中国 1人、韓国 1人)
- (4) 開催時間数(回数) 45時間 (15回)
- (5) 参加対象者の要件 地域の日本語学習を支援しているボランティアスタッフ
原則として、全回出席可能な方
- (6) 受講者の募集方法
近隣の日本語教室への案内、ちらし配布
- (7) 研修会場
ア 講義 (特活)とんだばやし国際交流協会
イ 実習 (特活)とんだばやし国際交流協会
- (8) 使用した教材・リソース
みんなの日本語、みんなの日本語絵カード、もっとしゃべろ！、ベトナム語辞書、スペイン語辞書、
中国語辞書、非識字体験ゲーム等
- (9) 講座内容

回	日時	講座名／学習内容	講師	受講者数
1	9月8日 13:00～ 16:00	スペイン語基礎講座 スペイン語の構造や文 法を学ぶ	(特活)とんだばやし国際交流 協会 通訳翻訳サポーター 額見 真麻 (特活)とんだばやし国際交流 協会 通訳翻訳サポーター 徳永 リタ	16名

2	9月11日 13:00～ 16:00	ベトナム語基礎講座 ベトナム語の構造や文法 を学ぶ	(特活)とんだばやし国際交流 協会 通訳翻訳サポーター 春名 咲 (特活)とんだばやし国際交流 協会 活動支援者 Khong Thuy Linh	14 名
3	9月15日 13:00～ 16:00	スペイン語講座 スペイン語をスペイン語で 学ぶ。スペイン語の外国 語学習を通じて、その特 徴を学ぶ。	(特活)とんだばやし国際交流 協会 活動支援者 内海 京子 (特活)とんだばやし国際交流 協会 通訳翻訳サポーター 徳永 リタ	14 名
4	9月18日 13:00～ 16:00	ベトナム語講座 ベトナム語でベトナム語を 学ぶ。ベトナム語の外国 語学習を通じて、その特 徴を学ぶ。	(特活)とんだばやし国際交流 協会 活動支援者 内海 京子 (特活)とんだばやし国際交流 協会 活動支援者 Khong Thuy Linh	10 名
5	9月22日 13:00～ 16:00	スペイン語講座 スペイン語でスペイン語で 学ぶ。スペイン語の外国 語学習を通じて、その特 徴を学ぶ。	(特活)とんだばやし国際交流 協会 活動支援者 内海 京子 (特活)とんだばやし国際交流 協会 通訳翻訳サポーター 徳永 リタ	15 人
6	9月25日 13:00～ 16:00	ベトナム語講座 ベトナム語でベトナム語を 学ぶ。ベトナム語の外国 語学習を通じて、その特 徴を学ぶ。	(特活)とんだばやし国際交流 協会 活動支援者 内海 京子 (特活)とんだばやし国際交流 協会 活動支援者 Khong Thuy Linh	11 人
7	9月29日 13:00～ 16:00	スペイン語講座 スペイン語でスペイン語で 学ぶ。スペイン語の外国 語学習を通じて、その特 徴を学ぶ。	(特活)とんだばやし国際交流 協会 活動支援者 内海 京子 (特活)とんだばやし国際交流 協会 通訳翻訳サポーター 徳永 リタ	12 人

8	10月2日 13:00～ 16:00	ベトナム語講座 ベトナム語でベトナム語を学ぶ。ベトナム語の外国語学習を通じてその特徴を学ぶ。	(特活)とんだばやし国際交流協会 活動支援者 内海 京子 (特活)とんだばやし国際交流協会 活動支援者 Khong Thuy Linh	12人
9	10月6日 13:00～ 16:00	中国語基礎講座 中国語の構造や文法を学ぶ	(特活)とんだばやし国際交流協会 中国語講座 講師 秋元 暁萌 (特活)とんだばやし国際交流協会 活動支援者 江崎 瞳	13人
10	10月13日 13:00～ 16:00	中国語講座 中国語で中国語を学ぶ。 中国語の外国語学習を通じてその特徴を学ぶ。	(特活)とんだばやし国際交流協会 活動支援者 内海 京子 (特活)とんだばやし国際交流協会 活動支援者 江崎 瞳	9人
11	10月20日 13:00～ 16:00	中国語講座 中国語で中国語を学ぶ。 中国語の外国語学習を通じてその特徴を学ぶ。	(特活)とんだばやし国際交流協会 活動支援者 内海 京子 (特活)とんだばやし国際交流協会 活動支援者 江崎 瞳	9人
12	10月27日 13:00～ 16:00	中国語講座 中国語で中国語を学ぶ。 中国語の外国語学習を通じてその特徴を学ぶ。	(特活)とんだばやし国際交流協会 活動支援者 内海 京子 (特活)とんだばやし国際交流協会 活動支援者 江崎 瞳	8人
13	11月10日 13:00～ 16:00	ボランティア概論 「ボランティア」とは何か？ を学ぶ。	大阪大谷大学 人間社会学部 人間社会学科 准教授 岡島 克樹	18人

14	11月17日 13:00～ 16:00	南河内の日本語教育事情・地域事情 富田林多文化共生推進 指針の策定過程とその内容	大阪大谷大学 人間社会学部 人間社会学科 准教授 岡島 克樹	18人
15	11月24日 13:00～ 16:00	今後の日本語教室の課題・展望 全講座で学んだことを踏まえ、今後の展望を考える。	(特活)とんだばやし国際交流 協会 活動支援者 内海 京子 (特活)とんだばやし国際交流 協会 通訳翻訳サポーター 徳永 リタ (特活)とんだばやし国際交流 協会 活動支援者 江崎 瞳	11人



9月8日の様子



11月10日の様子

(10) 講座の評価

① 受講生に対するアンケート

〈第1回～12回感想〉

- ・語学を学ぶことの大変さを痛感
- ・教える時の表情の大切さを感じた
- ・学習する中にも楽しみ(ゲーム等)が必要
- ・各国の人にあった勉強法、各言語にあった勉強法を行うことが大切
- ・基礎的なことを繰り返し学ぶことも重要である

〈第13～15回感想〉

- ・学校では「勉強」が目的であるが、ボランティアの教室は「日本語の勉強」だけでなく「話

をきいてもらいたい」という人も来る。日本に住むことで感じているストレスを言葉で発散できたら、気持ちも落ち着くと思う。そういった学習者の話を聞き、気持ちを落ち着かせるのも日本語ボランティアの一つの役割ではないかと思う。

- ・「日本語を教える」という立場であるが、「ボランティアの基礎」「多文化共生」を心にかけて活動を行っていきたいと思う。

〈全体的な感想〉

- ・「教え方」や「学び方」も大切であるが、「はじめの一步」が大切であると思った。
- ・はじめての時は「教える側」も「教える側」も大変である。
- ・世界にはいろいろな文字があるにも関わらず、「アルファベット」の読みを押し付けていたかもしれない。
- ・言葉、文字がわからないということは非常にストレスを感じるものだ実感。
- ・各地域の日本語教室が集まる機会がないので、日本語教室同志の交流会のような事ができれば、情報交換等できてよいと思う。
- ・学習者同志のマッチングも大切
- ・時代の多様性への対応の必要性を感じた。

② 実施主体からの研修内容結果評価

「教え方」の重点を置いた講座が多い中、今回のように「教えられる立場になる」という講座はなく、またボランティアの基本に立ち返るといった意味で「ボランティア論」地域での「多文化共生」また、「識字」の観点からの「非識字体験」、「多言語化とやさしい日本語」等の内容も含めた。参加者の中には、自分自身がかつてボランティアを「受ける側」だったという人もおり、その人の意見を聞くことができてことも非常に貴重であったと思われる。

全部で15回という長期間の講座ではあったが、このように他地域の日本語教室のボランティアが集まるということはなく、情報交換、意見交換の場としての機能していた。来年度の興講座終了後も本講座に関しての問い合わせもあつたり、日本語ボランティアに携わっている人にとっては興味深い内容になっていたのではないかとと思われる。

③ 実施主体からの外国人支援体制等今後の計画

本講座は「教えること」だけに視点を置いた講座ではなく、ボランティアの基礎や多文化共生にも視点を置いた内容であったため、参加された方は「日本語教育」を含め広く地域での外国人支援に携わることが期待できる。また、本講座の外国語教授者として地域で生活する外国人がその講座を担当したり、活躍する場を提供したことも今後の彼らの地域での活躍の場の拡大として活かすことができると思われる。本講座は「日本語教師ボランティア」対象であったが、地域在住外国人の活躍の場の提供という意味での成果もあり、今回の活動が今後の彼らの生活に大きく影響すると思われる。今回の講座の結果

を踏まえ、今後は「支援する側の意識の向上」、「当事者としての活躍の場」の両方の側面からの支援を考えていきたい。

(11) 事業の成果

① 他事業との連携

地域での活動は限られているためなかなか他の日本語教室のボランティア同志で交流する機会がないが、今回の講座を通し、他の日本語教室ボランティアとの関わりや情報交換などができた。また企画会議を行うことで意見交換等も行うことができた。

② 研修後の人材活用

先にも書いたが、本講座では地域在住の外国人自身に講座を担当してもらい、当事者の活躍の場を提供することもできた。今回のことからその他の事業や語学講座など、彼らの活躍の場が広げるきっかけになることも考えられる。

(12) 今後の課題

日本語教師ボランティアの基礎を今回の講座では押さえることができたと思われる。

しかし、社会全体での日本語教室事情や日本語教育事情は、経済の影響や社会の動向に日々変化し、多様化してきていると思われる。その多様化や変化に則した国人支援、地域での日本語教室運営というのが今後の課題であるように思われる。